

物理学会・領域 2 アドバイザリーボード 議事録

日時： 2003 年 5 月 15 日

会場： 核融合科学研究所

出席者： 伊藤 (NIFS), 大野 (名大・領域世話人), 木田 (NIFS), 柴田 (京大), 高部 (阪大), 田中 (NIFS), 谷川 (東海大), 長崎 (京大・領域世話人), 藤田 (JAERI), 吉田 (東大・領域代表)

1. シンポジウム, 招待講演について

1) 2003 年秋の分科会・招待講演は以下の 2 件を提案することで準備を進める.

(1) Jiquan Li 氏 (現 JAERI) **Interaction among different spatio-temporal scale fluctuations and associated transport dynamics based on gyro-fluid model** (前インフォーマルミーティングにて了承済み).

(2) Legingham 氏 (現阪大) 高部氏にアレンジを依頼する.

2) 2003 年秋の分科会・シンポジウムは以下の 2 件を提案することで準備を進める.

(1) 「プラズマ・ディスプレイ」 羽鳥氏に立案を依頼する (幹事: 大野氏).

(2) 「高強度場物理」 高部氏に立案を依頼する.

2. 領域 2 のカテゴリー, キーワードについて

1) カテゴリー (アイデンティティーを表すキーワード)

(1) プラズマ基礎 - プラズマ物理学の根幹をなす課題の探求

(2) プラズマ科学 - プラズマ物理の地平を拡大するテーマの探求

(3) 核融合プラズマ - 核融合の基礎および新たな可能性

(4) プラズマ宇宙物理 - プラズマ物理の視点からみた宇宙・天体現象

2) 学会講演のキーワード再編

来年の年会から新しいキーワードで公演を募集する. 上記のカテゴリーと領域内を横断するものでセッションを設計する. できるだけ広い範囲の聴衆を意識した発表を推奨する. 吉田素案をもとに, アドバイザリーボードで原案を作り, 次回のインフォーマルミーティングに諮る.

3. 領域 2 の運営について

1) 天文学会, 地球惑星学会との合同セッション

(1) 2004 年春の年会を目指す.

(2) 理事会への提案, 事務的な問題の検討を始める.

2) 競争的研究資金の構想

- (1) 企画調査などのテーマを立案する
 - (2) インフォーマルミーティングなどにおける検討の核作り
- 3) ネットワークの運営について
- (1) 発信は領域代表および世話人のみに制限する .
 - (2) 一般的な情報交換のためのネットワーク運営については次回のインフォーマルミーティングで意見を聴取する .
- 4) 学会誌について
- 「最近のトピックス」欄に積極的に記事を出す努力が必要 . 最近のサテライト観測など .